Truth
［トゥルース］

富山のスポーツの
真実を伝える

2018 春号

アスポとやま

¥0 Takefree

富山初のスポーツマガジン

VOL.13

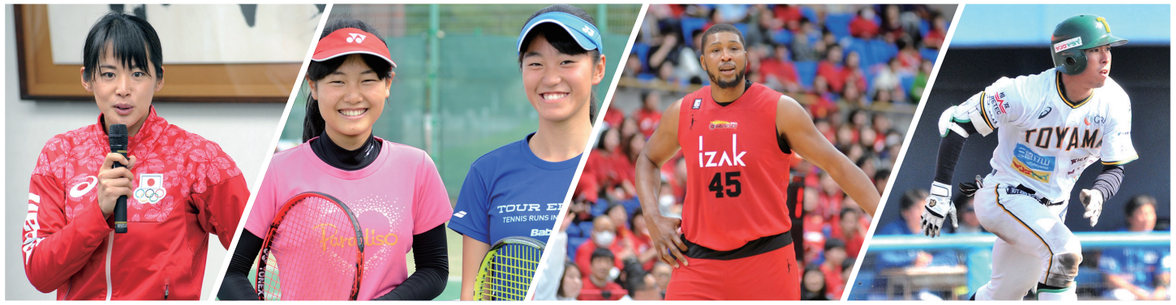
アスリートとして
新たな高みへ

スポーツくじ toto BIG
スポーツ振興くじ助成事業

ほおばる幸せ。



ほおばる幸せ。
富山米



Truth［トゥルース］

VOL.13 富山のスポーツの真実を伝える 春号

ホームページもご覧ください！！

Mayumi Ono

Junior Sports

Yumi kitahara

Makiko Asajima

TOYAMASPORTS THREE TEAM

TOYAMA SPORTS MESSAGE BOARD

SPECIAL FEATURES

02 女子ホッケー日本代表
引退から1年・小野真由美「さくらジャパン」復帰の決意

04 朝日ジュニアテニススポーツ少年団
常石勝治コーチの指導論とは？ OG田中＆春若の友情とライバル物語

06 ハンドボール・北原佑美
新天地で2020年東京五輪目指す

07 特別寄稿・浅島麻希子さん
食とスポーツは切り離せない

富山のプロチーム３球団のリアル情報

08 野球
富山GRNサンダーバーズ
「勝負の年」にかける河本光平主将

10 サッカー
カターレ富山
苦戦を糧にチーム一丸

12 バスケットボール
富山グラウジーズ
ビットマン「優勝の喜びをもう一度」

14 **富山のスポーツ伝言板**
女性アスリートが「温活」学ぶ
1部目指すホッケーの小矢部RED OX

※皆様からの耳寄り情報お待ちしています！





県内のファミリーマートで「Truth」を配布いただいています！

「Truth」の配布にご協力いただいている店舗・事業所などは次の通りです

あおき接骨院、KHEIR（ケイル）、スポーツドームエアーズ、ボンジュールSAKATA二口店、ボンジュールSAKATA富山駅前店、いっぽ堂、スポーツショップランナー、ノン・ビリィ、山内武道具店、カフェ ジャックラビット スリムス、アピアスポーツクラブ、西能病院、JSS富山インドアテニススクール、うな富、ビッグエッグ、ベースボールハウスMVP、すき焼 はやし、バイエルンスポーツ、栄寿し、居酒屋酔虎伝、松長接骨院、竹接骨院、奥田接骨院、原接骨院、ヘアーサロンみずほ、いなみ木彫りの里 創遊館（道の駅 井波）、ねむり家、MUSCLE GYM TOKYO富山店、娘娘餃子、ステーキ すず屋、高岡ワイン倶楽部、LIXILリフォームショップ ユニテ、Mag Haus、カフェ ゴッコ、ハウディーキオスクマーケット1931、ゴールドカレー富山豊田店、curry&bar nine、遊さん、万里摩理（マリーマリー）、Trattria La Luce、浅川接骨院、寿司正、桝カフィ、おき接骨院、村上接骨院、ヤマヒデホーム、らんぶる、スポーツ&コンディショニングセンターPOSS.、山田書店、富山空港内の喫茶Wingとカードラウンジらいちょう、らーめん菜館はじめ、moohno（モーノ）、山町茶屋、こやま接骨院、香華楽　（順不同）

このほか、富山県内のスポーツ・文化施設、公共の窓口、スポーツ団体の事務局、総合型地域スポーツクラブの事務局などで配布いただいています。NPO法人Tスポとやまは、「Truth」の配布にご協力いただける事業所・店舗などを随時、募集しております。

NPO法人　Tスポとやま　富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営
TEL：080-3461-5959　E-mail：nisennen@tspotoyama.com
ホームページ：http://tspotoyama.com/　Facebook：https://www.facebook.com/tspo.truth

富山発のスポーツメディア Truth

「さくらジャパン」復帰の決意

～引退から1年のブランクを経て、小野が戻って来た～

2018年元旦、私は小野の姿を久しぶりに見た。地元小矢部市のマラソン大会で彼女は、ゲストランナーとして「元日本代表選手」と紹介されていた。過去の選手だと思っていたのに、入念にウォーミングアップをする様子はアスリートの顔になっていた。現役を引退して1年以上たつはずだが……。その後まもなく、日本ホッケー協会がさくらジャパン（女子日本代表）のメンバーを発表した。リストの中に「小野真由美」の名があった。やっぱり。でもなぜ？　私は、彼女の心境の変化を聞いてみたいと思った。



■やりきった。でも誰も「お疲れ様」とは、言ってくれなかった

小野は、2016年のリオデジャネイロ五輪終了後、32歳で現役引退を発表、その年の日本リーグを最後に、所属していたコカ・コーラウエストを退社した。

やめてみて、あらためて自分からホッケーをとったら何も残らないと思った小野は、指導者としてのスキルを学ぶためホッケーの強豪国・オーストラリアに渡る。

帰国後、慶大女子ホッケー部のコーチに就任、一般企業に就職もし、セカンドキャリアとしての道を歩み始めた。ただ、小野の中で不思議に思うことがあった。多くの人たちからかけられた言葉は、「東京五輪が近いのになぜ、やめたの」「もう1回やってほしい」。

やりきったと思って、やめたのに、誰ひとり、お疲れ様とは言ってくれなかったのだ。「年齢も年齢なのに……」と思ったそうだ。

■こんなにも私のことを応援してくれる人がたくさんいる

自問自答する中、2017年11月、所属する会社の上司と話す機会があり、「選手としてホッケーを広めたかったが、五輪で結果が残せなかったことでそれも果たせず悔しかった」と話した。返ってきた言葉はこうだ。

「やったらいいじゃないか。今やめる必要はありますか？」

「今、頑張れる力が少しでもあるのなら、ホッケーを普及させたいという気持ちがあるならば、全力でバックアップします」

こんなにも私のことを応援してくれる人がたくさんいる。1年のブランクがある中で、その場に戻るには勇気が必要だったが、そう思った瞬間、迷いはなかった。選手としてホッケーを普及させる夢に向かうことを決めた。

2017年12月、トレーニングを再開した。日本代表の選考会には、リオ五輪の時の体を100とすれば、50～60ぐらいの状態で臨んだが、楽しくホッケーができたという。小野は2018年1月のニュージーランド遠征メンバーに選出された。

■仕事とホッケーの両立。今は高いモチベーションがある

コカ・コーラウエスト時代は、毎日、ホッケーをできる環境があったが、今の小野にはない。所属する企業では、広報部のチームリーダーとして、月、水、金は午後4時まで、火、木はフルタイムで仕事しながら、平日はジムに通って、フィットネスの向上に努めている。週末のみ。慶大女子ホッケー部を指導しながら、男子に混じって練習している。



聞き手・文　松井　克仁
写真　若林　朋子

食事も自炊、厳しい環境ではあるが、会社から社員として期待され働いていることに、これまでにない充実感があるという。時間がない中での危機感、何よりも、当たり前に練習ができた実業団時代とホッケーに対するモチベーションは大きく違うと話す。

■33歳で、2020年東京五輪を目指す覚悟

日本代表のメンバーは小野以外、すべて実業団や大学、高校のチームに所属している。リーグ戦や大会を通して、自身のプレーのアピールの場があるが、所属チームがない小野は代表選考会宿がすべてになる。

現在、33歳の小野。この歳になるとつらさを知っているだけに遠くの目標は持てないという。今は、7月のワールドカップ（W杯）日本代表のメンバーにまず、選ばれること。体のコンディションは若い時より、今のほうがいいので、アプローチの仕方で、まだまだ自分は変わることができると思っている。

2020年東京五輪の舞台に立てるのは16人。その中に入るには、かなりの覚悟がいる。その覚悟を少しずつつけていきたい。小野は今、アスリートして新たな高みに挑戦している。

富山のアスリートへ「上達のカギは楽しむこと」

小野は3月10日、県の「未来アスリート発掘事業」の講演会に講師として招かれ、五輪選手を目指す小学6年生約60人を前に、世界で勝つために必要なことを自身の経験をもとに語った。メッセージは次の通り。

「私は、楽しむことが伸びる要素だと思っている。これからけがをしたり、自分より上のレベルの人が出てきて、自分の思い通りにならなかったりすることが出てくる。その時に、どうやって自分に勝つか。強い自分でいられるか。夢を追い求められるか。あきらめることなく進み続ければ、得られるものは絶対にある。やめてしまうと何も得られない。気持ちの面で、上にいけるかどうか決まってくるので、楽しさを忘れることなく競技を頑張ってほしい」

おの・まゆみ　小矢部市出身、33歳。同市大谷ホッケースポーツ少年団―大谷中―石動高―天理大―コカ・コーラウエストレッドスパークス。2008年北京五輪、16年リオ五輪に出場。現在は慶大女子ホッケー部コーチで、老人ホームを全国展開する「SOMPOケア」に勤務する。



傷害保険　賠償責任保険　突然死葬祭費用保険　でも、もしもの怪我に心強いスポーツ安全保険

スポーツ安全保険

4名以上の団体・グループでご加入ください。

対象となる事故　団体活動中の事故 / 往復中の事故

平成30年度 保険期間　平成30年4月1日午前0時から平成31年3月31日午後12時まで（申込受付は平成30年3月から）

補償期間：平成30年4月1日午前0時から平成31年3月31日午後12時まで。ただし、平成30年4月1日以降の加入手続きの場合の補償開始期は、加入手続きを行った翌日0時からとなり終期は平成31年3月31日午後12時までです。

この広告はスポーツ安全保険（スポーツ安全保険特約に基づく傷害保険（スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約（学校管理下外担保）・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険）、賠償責任保険（スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約（学校管理下外担保）付帯普通傷害保険賠償責任担保条項））の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら（公財）スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険（株）までお問い合わせください。

公益財団法人 スポーツ安全協会 富山県支部（公財）富山県体育協会内
〒939-8252 富山市秋ヶ島183番地 富山県総合体育センター内 TEL 076-429-1230
電話受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝日を除く。）

保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧下さい。　http://www.sportsanzen.org
●資料請求は、インターネットより受付けております。

<引受幹事保険会社>
東京海上日動火災保険株式会社（担当課）公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4346（平日9:00~17:00）

<共同引受保険会社（平成30年4月予定）>
あいおいニッセイ同和　共栄火災　損保ジャパン日本興亜　大同火災
東京海上日動　日新火災　富士火災　三井住友海上

「こんな選手・指導者を、ぜひ紹介してほしい！」。「Truth」は読者の皆様の声にお応えし、富山県内のいろいろなチームを取材しています。この日、訪問したのは朝日ジュニアテニススポーツ少年団（朝日Jテニススポ少）が練習拠点とする朝日町文化体育センターのテニスコート。御年80歳のベテランコーチ・常石勝治さんと、OGであり、県大会で上位を争う田中緋萌選手（水橋高）、春若純菜選手（富山中部高）にお話を伺いました。

いつまでもテニスと関わり出会いの輪を広げてほしい



朝日Jテニススポ少・常石コーチ

つねいし・しょうじ　1937年8月9日生まれ、母の実家があった黒部市で生まれ、満州（現在の中国東北部）へ。終戦後に引き揚げてきて、朝日町で過ごす。泊高校を卒業した後、県内の企業に勤務。会社勤めのかたわら、地域の子どもらにテニスを指導。朝日Jテニススポ少の創設者でコーチ。



文・写真　若林　朋子

私がテニスを始めたのは約40年前。天皇陛下が軽井沢のテニストーナメントで正田美智子さん（現在の皇后陛下）と出会い、ご成婚に至った逸話からテニスブームが起こりました。皆、「テニスはおしゃれ」とブームに乗って、テニスラケットを持ち歩いていた時代です。私もそんな一人でした。

軟式テニスの経験があった私でしたが、なかなかうまくならず、悩みました。そこで物理の知識を応用するなどして、いろいろ工夫したのです。英文の指導書を読んだりもしました。例えば、私がボール出しをして、選手は打って、くるりと回って、しゃがんで、また立ち上がって打って、回って、しゃがんで……という方法を編み出しました。この練習は、体の軸を立て直す意識や、瞬発力、判断力などを養うことができます。「どうしたら上手になれるだろう？」という私の悪戦苦闘が、そのまま子どもたちの指導につながっていったのです。

はじめはつまらなかったのに、どんどんテニスが面白くなっていきました。楽しみながらプレーするうちに朝日Jテニススポ少が立ち上がり、うちの息子と娘もテニスを始め、仲間が増えていったという感じです。ハイキングやマラソン大会、クリスマス会、宮崎海岸でのヒスイ探しなど、テニス以外でも有意義な時間を過ごしてきました。気が付くと朝日Jテニススポ少の歴史は40年近くになっています。

朝日Jテニススポ少のメンバーは小学1年から中学3年までで、現在は20人弱。でも、OB・OGが時々、遊びに来てくれます。高齢になった今、子どもたちと打ち合いをすることはありませんが、要点を言葉でちゃんと伝えればどんどん強くなっていきます。もともと、「お手本を見せるからね」と言えるようなコーチではありませんから。「コーチ、下手だね」なんて言われることもありますよ。

孫の吉井優平（富山国際大附属高OB）がインターハイ、戸田万琴（水橋高OG）が国体に出場するなど、朝日Jテニススポ少から富山県を代表する選手も何人か育ってくれました。でも「試合で勝ってほしい」と願って指導しているわけではないのです。外国に行った時、言葉が通じなくてもテニスをすればすぐに仲良くなれます。また、テニスは生涯にわたって長く続けられるスポーツです。いつまでもテニスと関わり、テニスを通じて出会いの輪を広げてくれることが一番うれしいです。





久々に朝日Jテニススポ少の練習に参加した田中・春若両選手。仲良しのライバルであり、常石コーチと話す姿は孫のようでもあります。テニス、コーチ、学業との両立などについて語り合ってもらいました。

◇　◇

――2017年夏に行われた県高校新人大会の決勝では田中選手が6―1で春若選手を下し、優勝しました。幼いころ、町のスポーツ少年団で一緒に練習した仲間同士が対決するなんて、素晴らしいです。どんな気持ちでしたか？

春若　県高校新人大会の2週間前、ラインを送りました。試合は3日間かけて行われ、自分がプレーしていないときは、（田中）緋萌の試合を応援に行っていました。

田中　試合の当日も声を掛けたのです。「どんな感じ？」と言ったら、「まあまあかな」と言われたよね。「決勝で」とは言ったけれど、本当に勝ち上がれるとは思っていませんでした。

田中／戸田先輩みたいになりたい

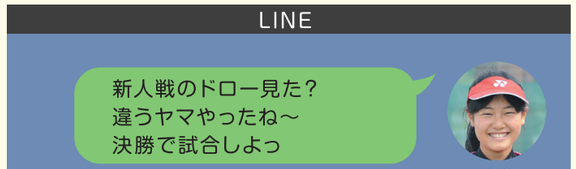
――どんなきっかけでテニスを始めたのですか？　幼いころから高校入学までのこと、教えてください。

田中　兄（流聖）の影響です。

春若　私は姉（安奈）。もともと違う小学校だったけれど、小学5年の時に統合され、6年生で同じクラスになりました。

田中　そうそう。私は五箇庄小だったけれど、途中からさみさと小になりました。中学には同じ朝日中で、中学には硬式テニス部がなかったので、陸上競技部に入って砲丸投げをしていました。高校はバラバラで、私は戸田万琴先輩に憧れて水橋高に行きました。スポーツコースです。





春若　私は中学時代、情報部に入り、ときどきここでテニスの練習をしていました。

――今、どんなことを目標にテニスをやっていますか？

春若　富山中部高では部活動が終了する時間は午後6時。自宅に帰ると7時半を過ぎます。部活と勉強の両立は大変ですが、私の場合はテニスを頑張らないと、勉強へのモチベーションも下がってしまう。だから3年生の県高校総体までちゃんと続けたいと思っています。「北信越大会に出場するから、公欠する」というのに憧れますね。

田中　私は「戸田先輩みたいになりたい」という気持ちで、頑張っています。強くなりたい。今、バックが苦手な分、フォアで攻めるという課題に取り組んでいます。一本一本がまだ浅いので、どんなボールでも返せるようになりたいと思います。



春若／部活と勉強の両立は大変

――常石コーチへひと言、お願いします。

田中　優しいし、一緒にいて楽しい。何でしょうね、この距離感は。家族みたいな存在です。

春若　（姉の安奈さんと一緒に）いつまでも元気でいてほしいので、がん検診、行ってくださいね。



ハンドボール・北原佑美
「新天地で2020年東京五輪目指す」

聞き手・文　TOM　/　写真　大阪体育大学

ハンドボール女子の「大学日本一」に輝いた北原佑美選手（氷見市出身、大阪体育大卒）。充実した4年間と、この春から始まる新天地での生活について語ってくれた。

◇　◇

昨年11月、試合終了を告げるブザーが鳴った瞬間、それまで肩に重くのしかかっていたプレッシャーから解放された。安堵し、目から涙があふれ出た。

インカレ5連覇がかかる決勝は、大きなプレッシャーがかかっていた。1年の時から試合に出場してきた大学4年間は本当に苦しかったが、そのすべてが自分を成長させてくれた。大阪体育大学にきてよかったと心から思う。

この春から日本リーグのソニーセミコンダクタマニュファクチャリング（鹿児島）に所属する。複数のチームからオファーがある中でソニーを選んだのは、若手が主体のこのチームで、自分がしっかり貢献して日本一を目指したいと思ったからだ。

■スポ少がスタート

小学3年生の時、ハンドボール経験者の父からスポーツ少年団の練習を見に行かないかと誘われたのがきっかけでハンドボールと出会った。はじめは難しく感じたものの、その面白さに気付くのに時間はかからなかった。小学6年で全国制覇を果たした。

氷見市西條中に入学する直前、「中学校には勉強をしに行くんじゃない、ハンドボールをしに行くんだ。」と父に宣言した。

中学3年の全中では準優勝だった。

高岡向陵高では、大森聡監督（現アランマーレ監督）のもと、他のポジションに挑戦し、プレイヤーとしての幅が広がった。インターハイ、選抜とも結果は準優勝だった。

■大学でプレーに磨き

大学は、高岡向陵高の1学年先輩・佐々木春乃（現北國銀行）が所属していたことや、名将・楠本繁生監督の指導を受けたいとの思いから強豪の大阪体育大へ進学。楠本監督のもとでディフェンスでの駆け引き、オフェンスではプレーに多くの選択肢を持つことに磨きをかけた。ポジションは得点を求められるライトバック、レフトバックであり、武器はロングシュートである。

身長171センチで、長い手脚から繰り出される速さ、高さを兼ね備えたシュートにより、入学当時からチームの主力となった。年代別日本代表にも選出され、3年時にフル代表合宿に参加した。ソニーではあえてポジションを固定せず、どこでも力を発揮できるようトレーニングするつもりだ。

◇　◇

北原選手が見据えるのは、2020年の東京五輪。「日本代表に選ばれるには多くの経験を積み、判断力を磨き、コンスタントな得点力、国内外で当たり負けしない体作りが必要」と話した。





きたはら・ゆみ　171センチ、63キロ。氷見市出身、22歳。氷見市窪スポーツ少年団－西條中－高岡向陵高－大阪体大卒。インカレ5連覇に貢献、この春から日本リーグのソニーセミコンダクタマニュファクチャリングでプレーする。

YUMI KITAHARA

足りない部分を補うのが食事、食とスポーツは切り離して考えられないものです。

特別寄稿　アスリートフードマイスター・浅島麻希子

「アスリートフードマイスター」という資格をご存じだろうか？　アスリートのパフォーマンスを最大限、発揮させるために、年齢別・競技別・タイミング別に応じた食のプログラムを提供できる知識を備えた人材を指す。富山県内にもこの資格を取得し、頑張っている人がいる。「Truth」では、アスリートフードマイスター1級の浅島麻希子さんに特別寄稿をお願いした。食とスポーツの関わりとは？



カターレ富山の下部チームでプレーする浅島さんの息子（ゼッケン4）

うちの息子はカターレ富山の下部チームでサッカーをしていました。小学校の5、6年生のころ、疲れやすく、けがが多く、成長期なのに不調が続き、とても心配になりました。そこで、スポーツと食に関する知識を深め、アスリートフードマイスターとして私が知り得た知識を広める活動をするようになっていきました。

人それぞれ個性があるように、私たちの身体も一人一人個性があります。私たちの体は、99・9％同じ遺伝子でできているといわれますが、残りの0・1％の違いが個性となっているそうです。その0・1％を、生かすために何をすべきか……。スポーツにおいては、競技のレベルを上げるために練習をしたり、観戦から学んだり、メンタルトレーニングしたりと試行錯誤をする中で、アスリートは自分の足りない部分を補い、成長しています。食事は、「足りない部分」を補うために重要な役割を果たします。スポーツと食を切り離して考えてはいけません。



八尾高ボート部の選手を対象に開催した栄養講座

私たちの身体は、食べたもので作られています。「いつ・何を・どのように食べるか」で、どんな身体が作られるかが決まります。身体を良くするのも、悪くすることも、食次第です。スポーツをする上ではまず、健康（心身健やかな状態であること）が絶対です。

健康な状態を作り、維持するためには、「ポパイのようにほうれん草を食べればパワーが出る」などという食べ物があればいいのですが、残念ながら一つの食材で、確実な効果が得られる食材はありません。持久力や瞬発力、筋力アップ、疲労回復、骨強化などの体作りには、食材や食材の組み合わせや食べるタイミングがとても重要になってきます。

食事が大切だと分かっていても、好き嫌いや疲労によって食欲不振になることもあります。これを少しずつでも克服することなどが「食事のトレーニング（食トレ）」です。正しい「食トレ」をすれば、必ず身体は変わります。現在、身体づくりや健康についての情報はネット上にあふれています。その中から、自分の体と向き合い、自分に必要なのは何かを見極め、自分にあった方法を見つけてほしいと思います。

しかし、身体の栄養ばかり考えていては、心の栄養が満たされません。しっかり学び、正しい知識を身につけていれば、心の栄養も満たすことができます。まずは、自分の体としっかり向き合うことが大事です。



あさじま・まきこ　アスリートフードマイスター1級、県内で「食べるトレーニング」をテーマにセミナーを開催し、講師を務めている。息子はカターレ富山ジュニアユースやユースに所属し、現在も首都圏の大学のサッカー強豪校でプレーする。富山市在住。

「遺伝子を知る」
遺伝子とは人間の設計図です。
遺伝子を知ることで個人の体質に合わせたより良い生活習慣を知ることができ、
効率の良い食事や運動方法を知ることが可能になります。
目的に合わせた
遺伝子分析サービス
▪競技力の向上を目指す－アスリート
▪いつまでも健康な体で過ごすための－ヘルスケア
▪理想の体や美肌を極める－シェイプ＆ビューティー
只今、販売店を募集中！
Media-Pro
Multimedia programming
株式会社 メディアプロ
〒933-0906
富山県高岡市五福町7-11
TEL：0766-26-3120
Eメール：info@media-pro.co.jp

主将として「勝負の年」にかける

富山GRNサンダーバーズ　河本光平内野手



かわもと・こうへい　1994年5月1日生まれ、岡山県出身。168センチ、72キロ。右投左打。岡山学芸館高－神戸学院大－富山GRNサンダーバーズ（2017～）。背番号46

伊藤智仁新監督の下、12シーズン目を迎えた富山GRNサンダーバーズ。今季、主将を任されたのが、河本光平内野手だ。「2年目、勝負の年」と定め、覚悟を決めて2018年のシーズンに挑む。チームを引っ張る意気込みを聞いた。

KOHEI KAWAMOTO

聞き手・文　土田　由香里
写真　赤壁　逸朗

●全員の前で主将に指名

3月10日のキャンプイン当日、河本は全員の前で主将に指名された。驚きはあったものの、気持ちが引き締まった。「昨年は先輩たちがいて、自分のことに精一杯だった」というが、今季は主将として、チームをリードする立場に。河本は「言葉よりも、プレーや姿勢で示していけたら。キャプテンシーを身に付けられる、成長できるチャンスをもらった」と前向きに捉えている。

●ドラフト会議を経て

昨年はドラフト指名まであと一歩だっただけに、今年にかける思いは強い。ドラフト当日、隣りに座っていた和田康士朗外野手が千葉ロッテマリーンズから育成1巡目で指名された。河本は「仲間の指名は嬉しかった。（自分が、ドラフトにかからなかったことについて）悔しいというより、自分自身の成績に納得できていなかったので、見えた課題を一つずつクリアにして行こうと切り替えることができた」と話す。

ドラフトで感じた思いが、オフの行動に繋がった。母校の神戸学院大で練習を重ねてきた。昨年の課題として守備を挙げる。「正面にきたゴロをしっかりアウトにすること」と、吉岡雄二前監督からアドバイスを受けていた。課題に継続して取り組んでいる。野球の基礎をやり直すことに費やした。富山に戻ってきた2月、しっかり身体が動く状態にして合同自主トレ、キャンプインを迎えることができた。

●2人の監督に学ぶ

吉岡前監督には「自分のセールスポイントを理解すること」「場面に応じたバッティングを考えること」などと、何度も言われていた。

河本自身が考えるセールスポイントは「足の速さ」。昨年は2番打者として、どれだけ出塁できるか、つなぐバッティングができるかを考えてきた。53四死球という数字は、その表れだが、12盗塁は物足りない。「もっと出塁できたなと思う」と悔しがった。

伊藤智仁監督は投手目線でアドバイスをくれるという。投手の状況に応じて、どうプレーするかを学べることが有意義だ。またNPBの選手がどう練習しているかなどについて教えてくれるので、それを試しながら、自分に取り入れている。「監督のオンとオフの切り替えを見習い、素早く切り替えができるチームにしていきたい」と考えている。



●目標を明確に

河本に今年の目標はと聞くと、「打率3割5分以上、出塁率4割5分以上、盗塁25以上」と答えてくれた。オープン戦では1番を任されることが多く、河本がどれだけ出塁できるかが鍵になってくるといえる。「昨年2番打者として経験したことを活かして、リードオフマンとしてチームに勢いをつける」それを果たした時、富山の優勝、河本のNPBへの道が開かれてくる。

●富山サンダーバーズ　ホーム戦(5月～前期終了まで)

開催日	対戦チーム	開始時間	球場
5月3日(木・祝)	福井	13:00	砺波
5月11日(金)	信濃	18:00	高岡西部
5月12日(土)	滋賀	13:00	県営富山
5月13日(日)	滋賀	13:00	県営富山
5月23日(水)	福井	18:00	高岡西部
5月30日(水)	石川	13:00	県営富山
6月1日(金)	信濃	18:00	高岡西部
6月2日(土)	信濃	14:00	県営富山
6月3日(日)	石川	13:00	県営富山
6月10日(日)	福井	14:00	県営富山
6月17日(日)	石川	13:00	高岡西部

スライダーの球を手放す瞬間は「たたくイメージ」／伊藤監督が指導者講習

富山GRNサンダーバーズが主催する指導者講習会は2月24日、高岡市のボールパーク高岡で開かれ、伊藤智仁監督と、マネージャー兼トレーナーの岡航平さんが座学と実技指導を行った。小・中学生等のジュニア世代の指導者を対象とし、高岡市スポーツ少年団に所属するチームの選手も参加した。

伊藤監督は、はじめに「投手と打者の攻防」をテーマに、マウンドとバッターボックスを隔てる18・44メートルの間でどのような戦いが繰り広げられているかについて、具体的な数字を用いて解説した。投手については今季から巨人に復帰した上原浩治投手などの例を挙げ「一般的な選手とは違う球を投げられるのがいいピッチャーである」と述べた。また、ボールの回転数と変化についても詳しく解説した。



次に「投手・捕手と走者の攻防」については、捕手が捕球してから投げるまでの時間と走者が盗塁する時間、投手の牽制について具体的な経験を語った。

実技では伊藤監督が現役時代に武器としたスライダーの投法を詳細に語り、「ボールを手放す瞬間の感覚は、たたくイメージ」と独特の技術論を披露した。児童に対しては「楽しい野球をするように心掛け、良い投げ方をすればけがをしない」と助言した。岡さんは肩肘の故障の予防等について講演した。

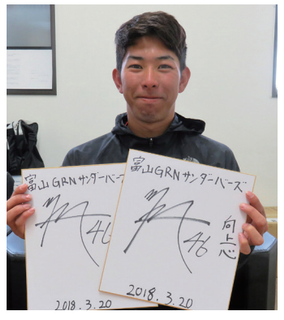
河本内野手のサイン色紙を2名様にプレゼント

富山GRNサンダーバーズの河本光平選手のサイン色紙を2名にプレゼントします。

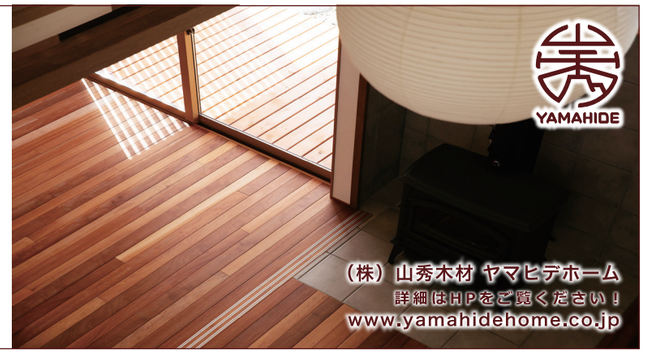
ご希望の方は、住所・氏名・電話番号・「Truth」へのご意見・感想を明記の上、メールで応募ください。

締切は2018年6月末。個人情報につきましては、商品の発送にのみ使用いたします。

nisennen@tspotoyama.com



OPEN HOUSE
職人とつくる木の家
見学会随時開催中!!
見学をご希望の方はご連絡ください





第2節・藤枝戦で今季初勝利。今季は団結力を強みに昇格を目指す
©KATALLER TOYAMA

苦戦を糧に チーム一丸

カターレ富山の戦いが始まった。
新戦力が加わってチーム力は上がっている。
序盤戦は負け越したが、課題とともに長所もみえてきた。　文　赤壁　逸朗

©2008KATALLER

NPO法人
Tスポとやま
賛助会員募集

【賛助会員】
企業・団体：[年会費]　¥10,000(税込) ／ 1口
個　　人：[年会費]　¥3,000(税込) ／ 1口

お気軽にお問い合わせください

※賛助会員には「Truth」(年4回発行)を送付いたします。
また、同誌に御芳名を掲載します。会員期限は入会日から2019年3月末までとします。

入会方法
申込書を記入いただき、年会費を銀行振込などでご入金ください。
◇振込先　北陸銀行　本店営業部　普通6071056　特定非営利活動法人　Tスポとやま / 富山銀行　本店営業部　普通3012357　特定非営利活動法人　Tスポとやま
※振込の場合は申込書を下記までFAXまたはメールでお送りください。ホームページからも申し込みいただけます。
◇FAX:0766-55-0009　◇E-mail:nisennen@tspotoyama.com　◇問合わせ先　080-3461-5959(Tスポとやま事務局)

浮氣哲郎監督2年目のカターレは選手26人のうち今季からの新顔が14人を占める。25歳前後の年齢の近い選手が増えたのもあり、「遠慮なく意見を交わせる。課題に対し、一人ひとりがしゃべる機会が多く、チームの雰囲気が良い」とGK永井堅梧は話す。

浮氣監督も選手の意欲やまとまりの良さを感じており、「みな理解力が高く、ピッチで話し合って問題を解決しようとしてくれる。昨季から求めてきた理想の姿が見えてきている」と話す。J3開幕から黒星が先行しているが、チームワークを強みに巻き返しを目指している。

■守備の安定がカギ

開幕前は大雪の影響を避けるため、キャンプの期間を当初より伸ばすなどしてチームづくりを進めた。磐田や松本といった格上との練習試合でも収穫が多くあり、一定の手ごたえを感じて3月11日の初戦・琉球戦に臨んだ。しかし、前半だけで3失点する思いもしなかった展開になり、3―4で敗れた。

ホーム開幕の藤枝戦（3／17）では終了間際にCKからDF代健司が決勝点を挙げて2―1で今季初勝利。これがクラブにとって2009年のJリーグ参入から通算100勝目だった。だが連戦となった第3節・C大阪U-23戦（3／21）を1―2で落としてから3連敗とつまずいた。第4節・FC東京U-23戦（4／1）は0―2。開幕からの5試合で総失点はリーグワーストの「12」に達し、順位も一時は16位まで下げた。今季から採用した「3-4-2-1」のフォーメーションでの守りがまひとつ機能せず、隙が生まれていたようだ。

危機感を高めて臨んだ4月7日の第6節・G大阪U-23戦では一転して今季初めて無失点で抑えて3―0で快勝。浮氣監督は「選手たちが声を掛け合い、お互いの距離感を大事にし、最後まで体を張っていて粘り強かった」と振り返っている。守備の安定感を高めることが浮上のカギになりそうだ。

■得点力アップに手ごたえ

このG大阪U-23戦では攻撃の改善も勝利につながった。3連敗中は縦方向に急ぎ過ぎて攻撃が単調になりがちだったが、ボール回しに緩急をつけて「自分たちの時間をつくる」ことを意識したという。課題を修正する力を感じさせた一戦だった。

攻撃面では今後につながる前向きな材料が多い。「3-4-2-1」の布陣の特性を生かし、ピッチの幅を大きく使うサイド攻撃を軸に据えている。MF差波優人とDF今瀬淳也から両サイドの選手に送るボールの正確さが武器になっている。切り札にしようと磨いているセットプレーからも得点が生まれており、成果が表れているようだ。

第1節でFW才藤龍治、第2節でFW遠藤敬佑が古巣相手に移籍後初得点を挙げた。G大阪U-23戦でも差波やMF新井瑞希が鮮やかなゴールを決めたように新加入選手が個人能力の高さを随所に示している。けがで離脱しているFW瀧谷亮やMF佐々木一輝が復帰すれば攻撃陣はさらに厚みを増す。昨季は前半戦を2位で折り返したが後半に失速して8位に終わっている。今季はやや出遅れたが、右肩上がりで成績を上げてJ2昇格を勝ち取りたい。

■上位争いは混戦模様

創設から5年目のJ3は年々レベルが向上している。上位と下位の実力差も接近しており、今季も開幕から混戦模様だ。第6節を終えて首位に立っているのが昨季は最下位の17位だった鳥取。沼津が2位、琉球が3位で追う。参戦3年目のC大阪とG大阪のU-23はチームの仕上がりが例年より早く、それぞれ4位と5位につけて台風の目になりそう。

一方、13位のカターレのほか、J2から降格の群馬や昨季王者の秋田、優勝候補の長野と北九州が10位以下に苦しんでいる。中盤以降、地力を発揮して上位を争うのはどこなのか。まだ情勢は混とんとしている。


第2節・藤枝戦の終了直前に勝ち越し点を決めた代健司。　©KATALLER TOYAMA
この日に長男が誕生し、うれしい祝砲となった

カターレ案内板

■「学割」チケットを販売

大学や専門学校に通う学生は学生証の提示でホームゲームの入場料が小中高生と同じメイン自由700円、ゴール裏自由500円になる学割を実施中。当日券のみ。女性が2人以上で来場すると料金を割り引く女子割チケットも用意している。

〈問い合わせ〉カターレ富山 電話076-461-5200

■8月までのホームゲーム日程

10節	5月6日(日)	13:00	vs 鹿児島
12節	6月3日(日)	13:00	vs 北九州
13節	6月9日(土)	13:00	vs YS横浜
15節	6月23日(土)	18:00	vs 盛 岡
18節	7月16日(月・祝)	18:00	vs 鳥 取
20節	8月25日(土)	18:30	vs 福 島

※時間は開始時刻。会場は県総合運動公園陸上競技場



デクスター・ピットマン（Dexter Pittman） 1988年03月02日生まれ、米国・テキサス州出身、テキサス大卒。ポジションはセンター。211センチ、128キロ。NBAのマイアミ・ヒート、メンフィス・グリズリーズ、アトランタ・ホークスや、中国、プエルトリコ、トルコ、イタリアのプロリーグを経て2016年12月に富山グラウジーズへ加入。

DEXTER PITTMAN

TOYAMA GROUSES

優勝した経験は忘れられない。
もう一度、あの喜びを味わってみたいなあ。
それが富山でならいいと思うよ。

文・写真　若林　朋子
通訳　毛呂　修（富山グラウジーズ）
吉野　栄樹（立山科学グループ）

富山グラウジーズのデクスター・ピットマン選手は、クレバーでフレンドリー。「文武両道」を掲げる米国の強豪大学でスター選手として活躍し、NBAプレーヤーとしてチャンピオン・リングも手にした。その後、欧州やアジアのプロリーグへ挑戦し、現在は富山のファンの声援を励みに戦っている。家族や、アスリートとしての歩み、大学での思い出、意気込みなどを聞いてみた。

■父の勧め

きょうだいは姉と弟2人、あと妹が1人いる。子どものころからNBAでプレーするのが夢だった。アメリカンフットボールや、陸上競技の投てき種目、バランス感覚を磨くため空手にも取り組んでいたんだよ。16歳でバスケットボールをメーンにするようになったのは、父の勧めがあったから。身長も伸びていたしね。

父はNBAのドラフトにかかるような選手だった。しかし、身体検査で腎臓が良くないことや足首に故障を抱えていることが分かったため入団が叶わなかったんだ。父からは「体のケアが大事だ」と常々、言われていたよ。

■故郷・テキサス

テキサス大は、大きな総合大学で、それぞれの学部はレベルが高い。スポーツだけでなく、医学や法律、ビジネスなどの分野でも優れた先生が集まっていて、学生も優秀だ。各界にOBが巣立っているよ。私も親をがっかりさせないため、スポーツだけでなく勉強も頑張ったよ。

テキサスはとっても暖かい場所だ。富山は好きだけど、雪がたくさん降るので冬は厳しいね。今年の冬は雪が多くて、家にずっといなければならなかった。

食文化はテキサスと富山ではずいぶん違うけれど、富山にもお気に入りのメキシカンレストランがある。焼肉やテキサスバーベキューが好きだ

な。残念ながら、生魚を食べるのは苦手だ。好きな食べ物はチキン、牛肉。あと、ブロッコリーや、ライス、ポテトなど。富山に来てからも、食の好みはあまり変わらないね。

■優勝の経験

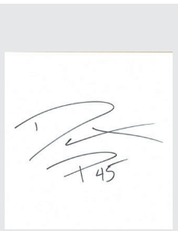
幼いころ、NBAの優勝パレードをテレビで見ていて感動した。そして、（2012年にマイアミ・ヒートで）自分もそれを体験することができた。何とも言えない気分だったなあ……。チャンピオン・リングの写真は、今でもスマートフォンに入っているよ。

優勝した経験は忘れられない。もう一度、あの喜びを味わってみたいなあ。それが富山でならいいと思うよ。

富山グラウジーズでの自分の役割は、一生懸命プレーし、自分の存在感を出していくこと。一生懸命プレーするには、ゲームを楽しむことが大事だ。

ピットマン選手のサインをプレゼント

富山グラウジーズ・ピットマン選手のサイン色紙を抽選で2名にプレゼントします。ご希望の方は、住所、氏名、電話番号、Truthに対するご意見・感想を明記の上ご応募ください。締め切りは、6月末。応募先は次の通り。
nisennen@tspotoyama.com
個人情報につきましては、商品の発送にのみ使用いたします。発表は現物の発送をもって代えさせていただきます。

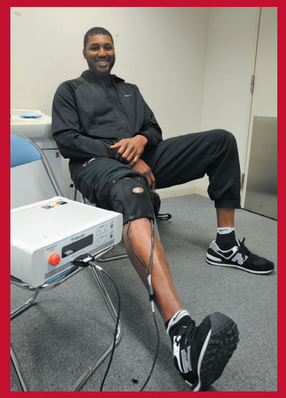












立山科学グループが開発したi-Boosterを使うピットマン選手





TOYAMA GROUSES

超短波で温め痛みを軽減／立山科学グループが治療機器

地元の電子部品／電子機器／FA機器メーカー・立山科学グループによって開発された超短波治療器が、足腰に故障を抱える富山のアスリートの症状改善にひと役買っている。その名も「i-Booster（アイブースター）」。富山グラウジーズ、カターレ富山、黒部アクアフェアリーズの選手らが使用し、好評を得ている。どんな機器なのか？

i-Boosterの仕組みは、温めたい体の一部分に導電性繊維電極の付いたサポーターを巻くと、電極に挟まれた部分に超短波が往復し、摩擦熱が起こって体温が上昇するというもの。どのくらい温まるかというと、例えば体全体を温める場合、腹部に電極付サポーターを巻き、約15分間加温すると、表面は5度、体の深部は1度上がる。これにより、疼痛（とうつう）の緩和や、筋肉、関節のこわばりなどが改善されている。

富山グラウジーズでは右ひざの半月板損傷に苦しむピットマン選手と、宇都直輝、宮永雄太、上江田勇樹の各選手が使用しており、いずれも「痛みが軽減された」「可動域が広がった」などの効果があったという。

ピットマン選手に詳しい使用状況を聞いてみた。これまで慢性的な膝の痛みに苦しみ、減量をするなど試行錯誤してきたらしい。30歳を目前にして疲労の回復が遅くなり、体が整わないとメンタルにも悪い影響が出ると実感していた。昨年の11月以来、アイブースターを1週間に2～3回、ゲームの前に20～30分、使用するようになると、ひざの痛みがほとんど出なくなったそうだ。

「大きなけがになる前に、これを使うことでプレーに安心感が生まれている。使う前と後の違いは動きやすくなり、膝が緩まる感じを受けている。富山に来てこのような形でサポートを受け、とても感謝している」と話した。肩の部分に取り付けるサポーターもあればいいと提案するほど。機器はピットマン選手の強力な「ブースター」となっているようだ。

立山科学グループによると、「ピットマン選手から要望のあった肩用のサポーターも、すぐ開発しており、県内のアスリートに活用してもらいながらさらに改良を重ね、普及を進めていきたい」とのこと。さまざまな競技の選手が活用してくれることを期待している。

スポーツ伝言板

ここでは、県内の身近なスポーツの話題を紹介していきます！
あわせて皆様からの情報提供もお待ちしておりますので、詳しくは左ページ下記をご覧ください。

女子アスリートが「温活」学ぶ 体の仕組みを知ってパフォーマンス向上



成長期の女子アスリート向けのトレーニングを指導する荒木さん

富山市内にある「あおき接骨院」では、「女子アスリートのための『温活』プロジェクト」を立ち上げ、2月11日と25日に学生アスリートやその保護者・指導者を対象にセミナーを開講した。

富大附属病院産婦人科診療講師・鮫島梓さんは「産産婦人科医による生理とスポーツ」と題し、過度な減量などによって無月経となると、疲労骨折や将来の不妊の原因の一つになり得ることなどを紹介した。受講者は、自身の体や競技を引退した後の人生について考える機会となった。

綿工房Sentokoコットンクリエーター・桑名聖子さんは「布ナプキンを使って生理とうまく付き合おう」というテーマで自身の取り組みを紹介した。桑名さんは布ナプキンを使うことで体調チェックができることなどの利点を挙げた。

高岡整志会病院の理学療法士・荒木佑介さんは「成長期女子アスリートへのトレーニング」というテーマで、骨盤が大きく、関節が緩いという骨格の特徴から起こりやすい障害について解説し、トレーニングを実技指導した。

公認スポーツ栄養士・舘川美貴子さんは「温活メシで身体の中から温めよう」と題して講演した。生姜や甘酒など身体を温める食材を効果的に使い、基本はバランス良く、そして個々の状況に合わせて栄養素をプラス・マイナスしていくことが必要だと話した。受講者は食の重要性について理解を深めた。

スタッフの1人であるジュニアスポーツカウンセラーの湯浅千鶴さんは、「生理の時期には腹痛があり精神的な落ち込みもあるので、パフォーマンスは低下すると考えがちです。しかし、個人差は大きいので自分の体をよく知ることが大切です」と話した。また、食事も栄養を補うだけでなく、中身を考え、さらには家庭で無理なく続けられなければ効果がない点を強調した。

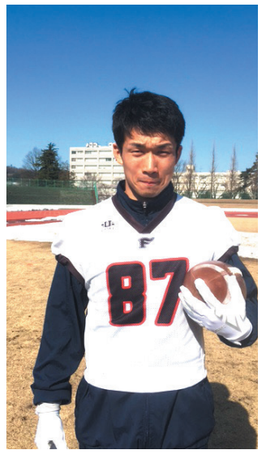
富士通 水野悠司選手（射水市出身）アメフト日本一のプレーを伝授

3月4日、今年のライスボウルで日本大学（学生日本一）を破り、2連覇を達成した富士通フロンティアーズのTE水野悠司選手（25）が、富山市の五福陸上競技場で、北陸の学生、社会人チームの選手約30人にパスキャッチやブロックについて指導した。これは、北陸社会人アメリカンフットボール連盟がクリニックを企画し、水野選手を講師に招いた。

富士通は、実業団チームでQBのコービーキャメロンなど、本場アメリカの選手が加わってからチーム力が大幅にアップ、水野選手はその中で磨いたプレーや戦術をわかりやすく説明、参加した選手たちにとってはトップチームのプレーに触れる貴重な機会になった。

水野選手は、高校までは野球、日本大学に進んでからアメフトに取り組み甲子園ボウルに2回出場、今年はライスボウル制覇に貢献、今は日本代表入りを目標にしている。

県内には、社会人の富山ベアーズ、富山大学ファイヤーブルズの2チームがあるが、水野選手は、「今後も地元富山の競技力向上やアメフトの普及に力になりたい」と話した。







ホッケー日本リーグ1部昇格目指す 小矢部RED OX

1部にあたるH1、2部にあたるH2で構成されるホッケー男子日本リーグ。県内から参戦している小矢部RED OXは、昨シーズンH1で5位に終わり、入れ替え戦でも敗れ、今季は、H2からのスタートとなった。チームはH1昇格に向け、新戦力7人が加入し、若返りを図った。「もっと楽しく！もっと深く！もっと熱く！」をモットーに掲げるチームの戦力について、沼田秀樹監督の分析はこうだ。FWは、日本代表の村田和麻、新人FW伊藤和也、新キャプテン瀬島史也、元日本代表の坂本博紀が縦横無尽な攻撃を仕掛け得点につなげる。

中盤は、新人MF林聡馬、萩澤貴晃が攻守に運動量が豊富で、展開力がある。DFは、ベテラン河合亮平を中心に、新加入の新井稜、新井岳の兄弟が堅実な守りからオーバーラップして攻撃参加を図ることで、深みのある攻撃を魅せる。

小矢部RED OXは、H2で、4月～10月まで10試合を戦う。6月2日（土）、3日（日）には、小矢部ホッケー場での試合が予定されている。H2で優勝してのH1昇格に期待がかかる。

【2018年リーグ構成】
▼H1　岐阜朝日クラブ、山梨学院大、天理大、立命館大、福井クラブ、LIEBE栃木
▼H2　小矢部RED OX、ALDER飯能、法政大、Seiro島根、東京農大、駿河台大



トライアスロンの杉原選手 「1番身近なアスリートになりたい」

「あなたにとって、1番身近なアスリートになりたい。」そんな思いでスポンサーを募り、トライアスロンのトレーニングに励んでいる選手がいる。26歳の杉原史浩選手。県の強化指定を受け、今秋の福井国体で8位以上を目指すという。どんな選手なのか？

杉原選手は千葉県出身で、転勤により富山県へ赴任したメーカーの営業マンである。20歳でトライアスロンを始め、早大時代には大学選手権に出場したが目標の入賞には届かなかった。「まだやれる」と競技を続行し、働くこととの“二刀流”に挑戦。昨年、初の日本選手権出場を果たした。ユニークなのは、「鉄人レース」のトライアスロンに根性論を持ち込まないスタンスである。動きの精度に着目した練習方法で成果を上げ、自己ベストを更新し続けている。

杉原選手は企業スポンサーのみならず個人スポンサーも募り、一緒に練習する等、多くの支援者と喜び・悔しさを共有し、スポーツの普及活動をしている。目標は「地域密着アスリートとして、地域に活気を」。「応援したい・興味がある」と思った方は、Facebookを通じて本人にアクセスしてほしい。まず、活動内容を知ることが支援の第一歩となるはずだ。



県内のスポーツ情報をお待ちしております

『Truth』夏号掲載ニュースの締め切りは2018年6月末

原稿・写真（画像）は左記メールアドレスまで、よろしくお願いします。なお、体裁に合せたリライトは編集部でさせていただき、ゲラチェックはありません。

・Tスポとやまメール
nisennen@tspotoyama.com

富山発のスポーツメディア
Truth
Find us on Facebook
Tスポとやま Truth
https://www.facebook.com/tapo.truth
Tスポとやま

誰もが世界一になれるわけでもない
誰もが日本代表になれるわけでもない
それでも人はスポーツをする
昨日の自分に追い越されないために
明日の自分を追い越すために
スポーツに鍛えられた人生は
勝っても負けても　きっと負けない
スポーツは、自分を超えるためにある。

スポーツくじ
toto FOR ALL SPORTS OF JAPAN
BIG
スポーツくじ（toto・BIG）の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

www.toto-dream.com　www.toto-growing.com　19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

Tスポとやま　賛助会員の皆様（2018年4月20日現在）

【法人会員】
けやきひふ科、タイセイツアーズ、富山信用金庫、三進堂、藤田内科クリニック、岡崎工機、伸栄商会、日伸精機、山崎機工、富山機械工業センター、富山技販、荒井学園、バレススポーツクラブ、東亜電工、KANAYA、津根精機、五省会 西能病院、北陸機材、前川歯科クリニック、ユニゾーン、立山科学工業、千山道場、ジャストドゥイット、ヤマヒデホーム、富山県綜合警備保障、高岡スポーツユナイテッド、ホテルよし原、バイエルンスポーツ、まちづくりとやま、JUMP MARUYAMA、クラブJoy、高岡金網　（順不同）

【個人会員】
伊井朋幸、吉野栄樹、鷲田真琴、有澤渉、尾畑達彦、尾畑美奈、坂本博志、松井洋、中川浩一、土肥正秀、夏野義一、髙岡茂樹、面谷太志、田中一郎、松本裕典、南部政樹、田村勉、田村恵子、澤田利浩、福井良、小沼憲子、嶋田利隆、大辻保、牧内直哉、江川正光、松島公裕、松下和磨、加藤進也、北井誠、末吉正道、北川悠介、大谷由里子、南雲公子、谷崎文保、伊東与二、大家芳夫、東軒一虎、沼田秀樹（敬称略、順不同）

【編集後記】

・KUROBEアクアフェアリーズがバレーボールの新リーグ「Vリーグ」の1部に参入することが決まった。バスケットボールの富山グラウジーズ、ハンドボールのアランマーレも国内トップリーグでしのぎを削る中、2020年東京五輪にむけ、富山のアリーナスポーツが熱くなりそうだ。老若男女がスポーツ観戦を楽しむライフスタイル定着へ、誌上でもいろいろ仕掛けていきたいと思っている（松井）

・平昌オリンピックで最も印象に残った種目は小平奈緒さんが金メダルを手にしたスピードスケート女子500mです。私事ではありますが、おかげさまで独立10周年を迎えることができました。今後ともよろしくお願いいたします（赤壁）

・富山GRNサンダーバーズの河本光平選手にインタビューをして感じたのは、とても丁寧に言葉を発してくれるということでした。プレーや姿勢で示したいという河本選手が語った思いは、球場に足を運ぶときっと感じられる強さなのだろうと思います(土田)

・いつの時代も野球少年にはスーパースターの存在は欠かせない。メジャーの歴史をも変えようとしているエンゼルス大谷翔平選手のあくなき挑戦は、同じ日本人ということだけでもこんなにも誇らしい。今年もいよいよ本格的な野球シーズンが到来し、エキサイティングな日々が続いていく！（中沖）

・ソチ冬季五輪でフィギュアスケート団体の金メダルに貢献したロシアのユリア・リプニツカヤ選手は、平昌五輪に挑戦することなく引退しました。理由は摂食障害です。採点競技や階級制の競技の選手には栄養学などを熟知したダイエットや体重管理が求められます。今後、医学の知識も深め、発信していきたいと思います（若林）

NPO法人　Tスポとやま　富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営

TEL：080-3461-5959　E-mail：nisennen@tspotoyama.com
HP ： http://tspotoyama.com/
Facebook：https://www.facebook.com/tspo.truth

顧問：田中一郎
STAFF：赤壁逸朗／金森正晃／久留健太郎／小林永／坂野上満／土田由香里／中沖紘一／永森茂／松井克仁
若林朋子
DESIGN：glic株式会社

Truth 夏号は2018年7月下旬発行予定